

情熱の指揮者・宮本文昭と、
華麗なるヴァイオリニスト・大谷康子が協演！
そして、数々の名曲をABCアナウンサー・三代澤康司が
楽しく愉快にご紹介！

宮本文昭

(指揮)



大谷康子

(ヴァイオリン)



三代澤康司

(ナビゲーター)



©有田周平



©尾形正茂



©飯島隆

平成24年**10月20日(土)** **全席指定**

すばるホール 2Fホール 15:00開演 (14:30開場)

前売料金 一般2,500円 高校生以下1,500円(各当日共)

すばる友の会会員前売 一般2,200円 高校生以下1,300円

発売日 平成24年7月21日(土)

すばる友の会先行発売期間: 7月14日(土)~20日(金)

チケット販売所

すばるホール(チケット専用) ☎0721-26-2060 ローソンチケット Lコード予約 ☎0570-084-005【Lコード:56206】
◎ラブリールホール◎SAYAKAホール◎LICはびきの◎ピュア金剛(金剛公設市場内)◎喫茶コンゴ(富田林市役所内)◎ニシバタ楽器・千代田センター◎レインボーホール(富田林市市民会館)◎エコーレ・ロゼ

※友の会及び一般発売の初日において、すばるホールでの販売は電話予約のみ受付いたします(10時~17時)。
※6歳未満のお子様の入場はご遠慮下さい。 ※本公演は宝くじの助成を受けて実施しています。

主催/公益財団法人富田林市文化振興事業団 助成/財団法人自治総合センター

お問い合わせ 〒584-0084 大阪府富田林市桜ヶ丘町2番8号 電話:0721-25-0222 FAX:0721-25-0550
すばるホール <http://www.tondabayashi-culture.org/subaru/>

演奏予定曲

- モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲
- メンデルスゾーン: 結婚行進曲
- エルガー: 「エニグマ変奏曲」より「ニムロッド」
- クライスラー: 愛の喜び
- メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲ホ短調より第1楽章
- ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集「四季」「春」より第1楽章
- サラサーテ: ツイゴイネルワイゼン
- チャイコフスキー: バレエ音楽「くるみ割り人形」(抜粋)
- スーザ: 星条旗よ永遠なれ(富田林市立金剛中学校吹奏楽部との共演)

※曲目は変更になる場合がございます。



再生紙を使用しています



宮本 文昭(指揮) Miyamoto Fumiaki



© 有田周平

宮本文昭の魅力は、その音楽性の高さや音楽に対するアプローチの多彩さにある。1949年東京生まれ。18才でドイツに留学しオーボエをヘルムート・ヴィンシャーマン氏に師事する。フランクフルト放送交響楽団(現・hr交響楽団)、ケルン放送交響楽団(現・ケルンWDR交響楽団)、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団などの首席オーボエ奏者を歴任し、超絶的技巧をもつ世界的名手、ソリストとして高い評価を得てきた。2000年からは、活動の本拠地をドイツから日本に移し、JTアートホール(現・有明コロシアム)、小澤征爾音楽塾主要メンバーとして現在も活動を継続している。自らの生き方を選択する「男の美学」を貫き、2007年3月31日、オーボエ奏者として40年の演奏活動にピリオドを打ち、最後をしめくく東京文化会館大ホールでのファイナル・コンサートは、チケットにプレミアがつくなど、伝説のコンサートとして「男の花道」を完成させ話題となった。その後、指揮者としても精力的に活動を始め、2012年4月より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の初代音楽監督に就任した。これまでに、サイトウ・キネン・オーケストラ、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、九州交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団などを指揮している。2007年には自らプロデュースする「オーケストラMAPS」も旗揚げし、荘厳華麗で質実剛健な宮本文昭の音楽の世界を構築している。作曲家・大島ミチルとは親交が深く、NHK連続テレビ小説「あすか」のテーマ曲「風笛」、東映「明日の記憶」のテーマ曲などでたびたび共演し、2009年5月には東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団を指揮して、大島ミチルの新作「アルトサクソフォンと管弦楽のための断章」組曲を2010年4月には九州交響楽団を指揮して、「Vioix de la vie (命の声)」をそれぞれ初演している。現在では、ミュージックバード・コミュニティFMチャンネルで「宮本文昭の音楽・雑学・人生楽」のラジオ・パーソナリティをつとめ、講演活動などにも取り組んでいる。著作は、「オーボエとの時間(とき)」「(時事通信社)「疾風怒涛のクラシック案内」(アスキー新書)「宮本文昭の名曲斬り込み隊」(五月書房)などがある。3月21日にはソニー・ミュージックダイレクトより「ザ・デビュー! 宮本文昭指揮&シエナ・ウィンド・オーケストラ」、3月28日にはキングレコードより「モーツァルト: アイネ・クライネ・ハナトムジーク宮本文昭&オーケストラMAP'S」をリリース。東京音楽大学オーボエ専攻の教授として、後進の指導に取り組み教育者としても高い評価を得ている。
公式ホームページ: <http://www.miyamotofumiaki.com/>

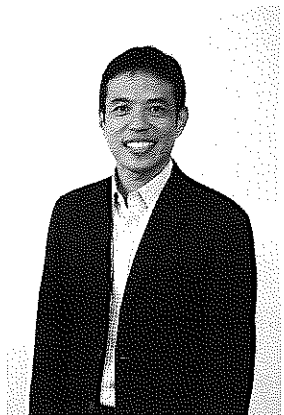
大谷 康子(ヴァイオリン) Ohtani Yasuko



© 尾形正茂

東京芸術大学、同大学院博士課程修了。全日本学生音楽コンクール全国第1位。シェリング来日記念コンクール第2位。在学中よりソロ活動を始め、ウィーン、ローマ、ケルン、ベルリンなどでリサイタルを開き絶賛を博す。これまでにスロヴァキヤフィル、東京交響楽団、新日本フィル、東京フィル、日本フィル、東京シティフィル、群響、神奈川フィル、札幌、名古屋フィル、大阪フィル、関西フィル、大阪響、九響などとソリストとして共演。華のあるステージ、愛器1708年製ビエトロ・ガルネリで奏でる心に響く演奏は、聴衆に深い感銘を届けてきた。満員の聴衆を魅了した2012年のサントリー大ホールでのリサイタルも大きな話題となった。テレビ番組「題名のない音楽会」に330回以上最多出演など多岐にわたるメディアでも活躍、さらに室内楽、現代音楽の分野にも力を入れ、2005年弦楽四重奏団「クワトロ・ピエチエリ」に参加。その質の高い演奏は2010年度「文化庁芸術祭大賞」を受賞した。コンサートの合間には病院や施設でのボランティア演奏も精力的に行っている。2011年9月27日には国際文化会館にて、東日本大震災への国際救援に対する感謝のコンサート「ありがとう」を音楽に乗せて企画し演奏した。CDはロングセラー『夢のあとに』『椿姫ファンタジー』、無伴奏作品を集めた『深紅のシャコンヌ』(ソニー)、『メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲/ラロ:スペイン交響曲』(キング)『シャコンヌ~佐村河内守 弦楽作品集』(コロムビア)など多数。今年4月に『ブルッフ/サン=サーンス協奏曲 (日本人初録音)』(キング)がリリースされた。東京交響楽団ソロ・コンサートマスター。東京芸術大学附属音楽高校講師。東京音楽大学教授。川崎市市民文化大使。日本交響楽振興財団理事。オフィシャルウェブサイト <http://www.yasukoohtani.com/>

三代澤 康司(ナビゲーター) Miyosawa Yasushi



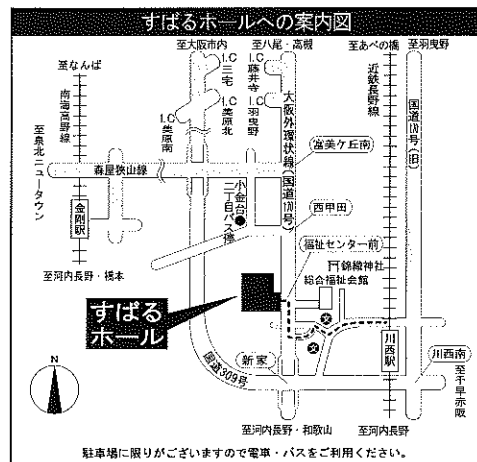
ABCラジオの大人気番組「ドッキリハッキリ三代澤康司です」のパーソナリティー。趣味は落語にマラソン・ゴルフと文化系から体育系まで幅広い。ABCアナウンサーとして忙しい日々にも、家族と過ごす時間を大切にしている。2007年末、ザ・シンフォニーホールでの「佐渡裕・21世紀の第九」公演の鑑賞をきっかけにクラシック音楽に開眼。最も好きな作曲家はベートーヴェン。絶妙な関西弁で繰り広げられるトークは、幅広い年代の心をつかまえて離さない。

大阪交響楽団(管弦楽) Osaka Symphony Orchestra



© 飯島隆

2010年4月、楽団名を「大阪交響楽団」と改称(旧大阪シンフォニカル交響楽団)。1980年創立。楽団代表・敷島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!」をモットーに提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」であると評されている。音楽監督・首席指揮者: 兄玉 宏、常任指揮者: 寺岡清高、首席客演指揮者: キンポー・イシイ=エトウ。2006年4月、大阪シンフォニカル協会理事に大和ハウス工業株式会社代表取締役会長 樋口武男氏が就任。同社の全面的な支援により、さらなる発展が期待されている。2008年、平成19年度(第62回)文化庁芸術祭「芸術祭優秀賞」、平成20年度「堺市栄誉賞」受賞。平成21年度「堺市功績団体」。2009年10月の「第139回定期演奏会」の成果に対し、平成21年度(第64回)文化庁芸術祭「芸術祭大賞」を受賞した。
<http://www.sym.jp>



●交通: 近鉄長野線「川西駅」から徒歩8分、南高野線「飯島駅」下車 高野バス「川西総合2丁目」バス停下り徒歩8分